



# 全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 相澤健二／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271  
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>

## 全消協 第44回 全国消防職員研究集会

### 集会テーマ

# 「質の高い 消防サービスの 実現に向けて！」

1995年1月17日5時46分。兵庫県神戸市を中心に発生した阪神・淡路大震災は、死者5万人を超える甚大な被害をもたらした。この未曾有の大震災から得た教訓は緊急消防援助隊の創設に繋がり、技術・知識・装備・機材などあらゆる消防活動に影響を与え、今に受け継がれている。2016年6月27日～28日、戦後最大の都市型災害から20年の歳月を経た教訓の地「神戸」に全国から292人の会員が集まり、第44回研究集会を開催した。

### 1日目【全体集会】

近江孝之会長より、熊本地震で犠牲になられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、全消協から発信した熊本地震カンパへ快く対応していただいたことに感謝を述べた。また、多くの会員が集まっていたことへのお礼と、研究集会は質の高い消防サービスに繋がる2日間であり、ここで学んだことは皆さんの職場に持ち帰り寄与できるように、そして全消協への提言に繋げていただきたい、と主催者挨拶を述べた。



- ◆ **本部提起「質の高い消防サービスの実現に向けて」**  
相澤健二事務局長より、緊急消防援助隊の問題と課題、消防職員の慢性的な人員不足、消防職場の労働環境など、問題提起を行う。
- ◆ **災害活動報告「2015年9月関東・東北豪雨による日光市の被害状況について」**  
日光市消防政策研究会 渡辺圭一、佐々木俊一  
1時間雨量50mm、24時間雨量300ミリ以上の豪雨とそれに伴う大規模な被害が発生した。  
想定を超える災害の中、消防はどのように対応していくべきか、日光市消防政策研究会より災害活動報告と研究発表が行われた。
- ◆ **記念講演「天は自ら助くる者を助く——阪神・淡路大震災の体験から学んだこと——」**  
一般社団法人神戸防災安全推進協会理事長 辻井章  
大規模災害に対応する様々なシステム構築に繋がった「阪神・淡路大震災」。神戸市消防局警防部長であった1995年1月17日神戸で一体何が起きたのか。その後、どんな問題が発生したのか。自ら被災し、消防人として未曾有の災害に立ち向かった経験、後の消防体制にどう活かしたのか。「阪神・淡路大震災」から得た教訓を講演いただいた。



## 半鐘の 乙女ま

「大災害時は、時間外勤務手当も特殊勤務手当も出せません。東日本大震災の時に若手県沿岸部のある消防本部で、消防長から言われたひと言である。自治体も住民も津波被害で大変な時に、余計な手当は出せないと言った。津波被害にあった太平洋沿岸部の消防本部では時間外勤務手当が割カットは当たり前、キリスト踏み絵のように受け取るかどうかは自分で決めなさい」と言われた。全額カットを余儀なくされて泣き寝入りした消防本部もあった。応援に行った消防本部でも、財政難で余計な時間外勤務手当は出せないと言われたという。自らも被災し、家族の安否も分からない状況で、何度も死の危険に晒されながらも飲まず食わずで不眠不休の救出・救護活動をしたにもかかわらず、命がけの労働の対価として支払われるはずの手当がうやむやにされている。住民感情からすれば「公務員だけが厚遇を受けている」と言われかねないが、我々消防職員もその住民の一人であり、我々家族も流された被災者の一人です。

公務員には法令・条例を遵守しなさいと言いつつ、一方で大災害時には余計な手当は出さないという法令違反を平気で犯す発言をする。矛盾を感じるのには私だけですか。大災害時の我々消防職員の命がけの時間外勤務は、余計な手当なのでしょうか。緊要時の時間外や特殊勤務手当、緊要隊出動後の補充要因の確保など、私たちの消防職場には改善すべき問題が多々あります。このような問題に立ち向かうために協議会として団結することが重要です。皆さん、共に手を取り問題に立ち向かいましょう。

藤岡貴志(東北7ロック幹事)

全消協  
第44回  
全国消防職員研究集会

# 分科会で協議会活動の基礎を学ぶ

## 第1分科会

### 「組織強化・拡大」

第1分科会の「組織強化・拡大」では、第1部として、吉村幹事に  
よる講演を行い、第2部は各班に  
よるグループワークを実施した。  
第1部の講演は、自身のオルグ活  
動の経験談や、九州プロックの取  
り組みを中心とした講演を行い、  
第2部のグループワークでは、  
ユース世代の活動の促進や、魅力  
ある職場づくりにむけた取り組み  
また単協が実施しているレクリ  
エーション等の紹介など、さまざ  
まな内容で行われた。

事からご教授いただき。難しい内  
容であったが、実例を元にした再  
現劇(署員の年次有給休暇の理由  
を署長が聞き、その日は最低人員  
だからと他の署所に代わりを見つ  
けようともせず休暇を与えない)  
を見せるなど、時折ユーモアも交  
えて分かりやすく解説をいただい  
た。

その後9つのグループに分かれ  
昼食や休憩をとりながら「無賃金  
拘束時間の現行の問題点と改善  
事例」と「人事評価制度施行にお  
ける注意点」の2つの内容で討議  
を進め、グループ発表を行った。  
(権名津)

## 第3分科会

### 「救急医療体制・労働安全衛生」

また、未組織消防から2人の参  
加があり、今後の組織強化拡大に  
期待の持てる分科会となった。  
最後に、村上副会長による組合  
活動の原点について講演を行い、  
総括とした。(川上)

## 第2分科会

### 「賃金・労働条件」

前全消協東海プロック幹事で  
あった2人を講師に迎えて、前半  
は「消防職員の労働条件」を倉田  
利彦元幹事から、後半は「人事評  
価制度について」を水野圭介前幹

労働安全衛生と救急医療体制  
の合同分科会、「消防職員のスト  
レス」をテーマに実施する。  
名城大学人間学部畑中実穂准  
教授から「ストレスチェック・消  
防組織としての取り組みを考え  
る」、全国幹事から「惨事ストレ  
ス」「通信指令員のストレスにつ  
いて」「公務災害認定事例につい

て」の講演を行った。

畑中准教授の講演の中であった  
「ストレスに対する意識の高い職  
場、気づきが良く支えあう雰囲気」という言葉が印象的であった。  
また、制度だけに頼らず自分や他  
人の普段の変化に早く気づき、重  
くなる前に職場全体で対処をして  
いくこと、惨事ストレス反応は誰  
でも受ける可能性があるのでも正し  
い知識を有すること、ストレスを  
受けにくいことをめざすよりも蓄積  
させず自分なりのストレス発散方  
法を確立することが重要だと感じ  
た。(返町)

## 第4分科会

### 「男女平等参画・国際連帯活動」

「消防職場Ⅱ男性職場」の中で  
活躍する女性消防職員の現状や課  
題を学び、男性・女性にとつて働  
きやすい職場環境をどのように構  
築していくのか。そして、近年「L  
GBT」が注目され、消防職場に  
おける「多様な性」への理解も必  
要となつていく中で、性的マイノ  
リティとしてさまざまな差別があ  
る現状を知り、共に尊重し合える

職場環境作りを参加者の皆さんと  
一緒に考える参加型の分科会で  
あった。また、男女平等を基本的  
人権と考えているPSIで行つて  
いる男女平等に関する取り組みも  
参考として報告する。  
参加者の約8割がこの分科会を  
受けるまでLGBTについてあま  
り理解していなかった。「多様な  
性」を理解し、人が生き生きと活  
躍できる職場環境を考えていくた  
め、全国への発信をさらに続け  
ていかなければならないと思つた。  
(成吉)

# 「えさきたかし」さん 当選!

7月10日に開票された参議院議員選挙で、全消協が推薦する  
「えさきたかし」さん(比例代表)が18万4187票を獲得し  
当選を果たすことができました。民主的な消防職場を実現する  
ため、引き続き支援をお願いいたします。

全国消防職員協議会会長  
近江孝之

## 女性連絡会 第2回女性連絡会幹事会を開催

6月28日、全国消防職員研究  
集会2日目のランチタイムに女  
性連絡会意見交換会を開催した。  
10人の女性が参加し緊急消防援  
助隊への女性の参画や生理休暇  
の取得など意見を交わしました。  
次回の労働講座も意見交換会を  
開催する予定です。女性会員の  
皆さんは各プロックの女性幹な  
どを積極的に利用してぜひご参  
加ください。

研究集会終了後に第2回女性  
連絡会幹事会を開催し、各種行  
事における託児所の費用負担や  
ホームページの活用について議  
論し、過去2回行ったアンケー  
トを分析し課題を抽出してい  
くことなどを確認しました。  
女性連絡会ではホームページ  
や掲示板で積極的に情報発信を  
していきます。女性連絡会で取  
り扱ってほしい課題やご意見・



ご意見・ご要望は以下のメールアドレスまでお寄せください。  
女性連絡会アドレス: zen\_jyo@yahoo.co.jp



# 民主党 消防政策議員懇談会

2016年  
3月10日

## 総会

2016年3月10日、東京都海運クラブ2階ホールにおいて、民主党消防政策議員懇談会総会が開催され、赤松広隆会長や江崎孝事務局長をはじめとした民主党議員、総務省消防庁から西藤公司消防庁次長以下4人、自治労本部から川本淳中央執行委員長以下5人、全消協四役・幹事、消防協各県代表者が参加した。

## 交流会

総会が行われた同会場において、国会議員との交流会を開催する。

参加した各県消協の代表者は、多くの国会議員と積極的に交流を図り、地域の事情を盛り込みながら消防職場の問題点や体験談などを膝を交えて話し合った。



冒頭、自治労川本委員長は挨拶の中で「消防職員の団結権についてILOから再三にわたり指摘されているがなら動きをみせず置きざりにされている。このような時こそ私たちは政治の力を確認しなくてはならない」と述べた。続いて、緊急消防援助隊活動費に関する負担金、公共サービスの充実などを盛り込んだ「消防行政の充実強化に関する要望書」の報告、消防職場における課題の報告が行われ、消防庁次長や多くの国会議員に対し消防職員の現場の声を伝えるとともに、労働条件改善の必要性を訴えた。

最後に、「消防職員の団結権付与と民主的な職場環境の確立にむけた決議」を行い、民主的な職場環境の獲得と質の高い消防サービスの確立を訴え総会を終えた。



政治の世界が身近に感じる距離感の中、各々が政治に対する想いを直接伝える絶好の機会となった。



# 全消協 第7回 リーダーセミナー

3月11日～12日、TKP東京駅日本橋カンファレンスセンターにおいて全消協第7回リーダーセミナーを開催、組織を担うリーダーとして必要な知識と課題に取り組む姿勢を学ぶため、全国より51人の会員が参加した。

1日目は「これからの組織

のあり方は？各単協が抱える課題から議論する」と題し、井戸章夫副会長による講義の後、グループ討論を行い、各グループの代表による発表が行われた。次に、「地方公務員の選挙活動について」細川潔自治労顧問弁護士が講義を行い、地方公務員法や公職選挙法と照らしながら地方公務員の選挙活動について学んだ。



2日目は、「政治闘争に背をむけてはたかえない」参議院議員選挙編」と題し、高田邦治自治労福岡県本部特別執行委員より民主的な消防職場のためには政治や選挙に無関心ではいられないこと、グレナ選挙活動を解消するため具体例を挙げながら分かりやすい講義が行われた。

**新規単協、続々結成中!!**  
**今回は北海道の2単協を**  
**ご紹介いたします。**

※「いちやりばちょうで」とは、沖縄の言葉で「一度会ったらみな兄弟」という意味です。



**標茶消防職員協議会**

**消防行政の充実化を**  
**めざして!**

全消協会員の皆様こんにちは。  
 2015年8月27日に発足しました標茶消防職員協議会と申します。北海道内で57番目の単協として発足し、その後、道消協・全消協に加盟させていただきました。

私たちの管轄する標茶町は、北海道釧路市の北部に位置する人口約8千人の小さな町です。主な産業は酪農業で、市街地東西南北に農村地域が広がっており、その広大な敷地、総面積1100km<sup>2</sup>を職員25人で守っています。

少人数の消防署であるがゆえに各種災害出動に慢性的な人員不足が発生しており、町外転院搬送や救急2次出動、ドクターヘリ支援

出動などでは非番や公休者を招集し、人員を確保しています。また、近年の職務複雑多様化に対し、団塊世代退職に伴う若手との世代交代が潤滑に進んでいない現状もあります。

このような状況の改善策を思案していたところ、消防協未加入組織として各消防協のさまざまな行事や講習会に参加させていただく機会があり、それらを通して他消防本部の活動の工夫や職場環境、待遇面を知ることができ、消防協設立の決意と活動の方向性が確かなものとなり、今日の結成を迎えました。

現在、会員数17人と少なすぎますが、さまざまな不安もありますが、会員一同が一致団結し、地域の消防行政を充実化できるような努力をしていく所存です。設立間もない消防協ですのでご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。



**本別消防職員協議会**

**誇りと生き甲斐を感じる**  
**魅力ある職場づくり!**

全国消防職員協議会の皆様、こんにちは。  
 私たちは、2015年12月5日に道内58番目の単協として全消協の仲間入りさせていただきました。本別消防職員協議会です。

本別町は北海道の太平洋側にある十勝管内の東側に位置し、日本一おいしい豆の町として農業が栄える人口約8000人の町です。

私たちは、社会情勢の変化に伴い複雑多様化する消防業務に適切

に対処するため、近代消防技術の研究、並びに会員相互の親睦と信頼のもとに連帯意識を高め、職務に誇りと生き甲斐を感じる魅力ある職場づくりに貢献することを目的に結成いたしました。職員の人でも欠けるのなら結成は見送ろうと思っていました。結成に

至る過程の中で、帯広市消防職員協議会や自治労関係者のご協力、皆様方からの温かいお言葉が私たちの大きな後押しとなりました。本当にありがとうございました。ごさいました。

最後にありますが、設立間もない協議会ですの何かと皆様方にご迷惑をおかけすると思いが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



**全国消防職員協議会**  
**第40回定期総会・40年記念行事**

2016年8月29日9時～

総会・第1部講演：福岡国際会議場  
 第2部祝賀会：ホテル日航福岡

**2016年熊本地震への支援について**

全消協は、4月14日から発生した熊本地震で被災された地域への支援を目的とした「災害カンパ」を会員皆様に呼びかけたところ、多くの皆様からご協力をいただきました。6月30日現在までのカンパ金の集約結果を以下のとおり報告します。

**集約総計 324万223円**

今回集約したカンパ金は、熊本県消協に一任し、被災した会員の支援のために拠出します。ご協力ありがとうございました。

全国消防職員協議会会長 近江孝之